

黒田古墳群(深谷市)

2号墳

正面が黒田2号墳/帆立貝形前方後円墳であるという/説明板の方が前方部



黒田古墳群

所在地 七園町大字黒田

黒田古墳群は、この付近一帯にあつた三十基に
余る古墳の総称である。

長い年月の間に荒廢してゐたが、荒川中部第一次
ほ場整備事業実施に當り、昭和四十九年に十三基
の調査された。また関越自動車道花園インター左
への設置に伴い、昭和五十二年に三基が発掘調査された。
古墳の内部には河原の自然石を礎石積みにした横穴
土室があり、大部分が袖無型で、長六五方形プランである。

副葬品は、大刀、鉄鏃等の武器、鎧、金具等の
馬具、高坏、埴輪等の須恵器、装身具としての空玉
管玉、文玉等のくろ玉類が出土した。構造と出土品
等を総合的に考察すると、築造年代は西暦後半
から七世紀初期と考えられる。

昭和五十二年四月、主墳である前方後円墳一基と、
東方約百六十メートルの円墳一基を町の文化財に指定した。

昭和六十年三月

後円部から左手に前方部を見る



葺き石が残っている



右に廻って後円部を斜め後ろから見る



後円部を真横から見る/右手が前方部方向



境頂から前方部を見下ろす



墳頂から正面前方に16号墳を見る



遠方から側面を見る/左手が前方部で帆立貝形が見てとれる



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/SAITAMA/hanazono/kuro2.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifuku.htm>



16号墳

前方は2号墳の墳頂から見た16号墳



円墳で6世紀後半の築造とされる





ここにも葺き石らしきものが残る



円径16m、高さ1.5mと小型である





墳頂から正面に先程の2号墳を見る



近くの路肩にはこんな石が並んでいた



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/SAITAMA/hanazono/kuro16.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifuku.htm>



10号境

この豚舎のエリアに10号境がある/正面左手



正面が10号墳/6世紀後半築造の円墳



こちらも円径15m、高さ1.5mと小型である



時計回りに廻ってみる



やはり葺き石が見られる





石の中には集めた石をここに集積しただけと思われる状態のものもある





墳頂から見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/hanazono/kuro10.html>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifuku.htm>



19号境

この稲荷社が19号境の境頂に建つ



円径16m、高さ2mの円墳



大きな石が見える





裏手から見る



近くにはこんな石が散乱している



墳頂に登ってみる



稲荷社





境頂から見下ろす



手前は調査隊の第二クルーザー



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/hanazono/kuro19.html>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifuku.htm>

